

# 平成28年度 農山漁村振興交付金(都市農村共生・対流及び地域活性化対策) 事業実施地区 評価結果【北海道】

## 1. 事業評価の実施

平成28年度に実施された「農山漁村振興交付金(都市農村共生・対流及び地域活性化対策)」の事業について、「農山漁村振興交付金実施要領」(平成28年4月1日付け27農振第2326号農林水産省農村振興局長通知)別紙1の第8の2の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

## 2. 事業評価結果の総括

平成28年度に交付金事業を実施した北海道内の10地区について、取組の実施状況、成果等を総合的に評価した。その結果、優良と認められる地区が7地区、良好と認められる地区が2地区、低調と認められる地区が1地区との評価結果となった。低調と認められる地区に対しては、重点的な指導、助言等を行う。

## 3. 各地区の評価結果

### 【①活動計画】 3件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階					評価	評価コメント
				H28	H29	H30	H31	H32		
農村振興局	北海道	旭川市	旭正・東旭川地域活性化推進協議会	●	○	○	○	□	A	総合的に目標の達成状況が優良と認められる。
農村振興局	北海道	新冠町	新冠町観光振興推進協議会	●	○	○	○	□	B	総合的に目標の達成状況が良好と認められる。
農村振興局	北海道	ニセコ町	ニセコ農観連携協議会	●	○	○	○	□	A	総合的に目標の達成状況が優良と認められる。

### 【②子ども農山漁村交流】 2件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階					評価	評価コメント
				H28	H29	H30	H31	H32		
農村振興局	北海道	石狩市	石狩市環境教育推進協議会	●	○	□			B	総合的に目標の達成状況が良好と認められる。
農村振興局	北海道	美深町	天塩川自然学校協議会	●	○	□			A	総合的に目標の達成状況が優良と認められる。

**【③農山漁村における農林水産物の販売・加工】 1件**

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階					評価	評価コメント
				H28	H29	H30	H31	H32		
農村振興局	北海道	雄武町	雄武地域地場産品推進協議会	●	○	□			C	総合的に目標の達成状況が低調と認められる。

**【⑤農山漁村の「食」を活用し観光と連携したグリーン・ツーリズム】 3件**

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階					評価	評価コメント
				H28	H29	H30	H31	H32		
農村振興局	北海道	津別町	つべつ”畑ツアー”運営協議会	●	○	□			A	総合的に目標の達成状況が優良と認められる。
農村振興局	北海道	鹿追町	鹿追町グリーンツーリズム観光地域づくり推進協議会	●	○	□			A	総合的に目標の達成状況が優良と認められる。
農村振興局	北海道	大樹町	南十勝長期宿泊体験交流協議会	●	○	□			A	総合的に目標の達成状況が優良と認められる。

**【⑦農山漁村の地域提案型活動】 1件**

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階					評価	評価コメント
				H28	H29	H30	H31	H32		
農村振興局	北海道	浦幌町外	とがち農村ホームステイ発展事業創造協議会	●	○	□			A	総合的に目標の達成状況が優良と認められる。

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ○・・・交付対象年度(計画) ●・・・交付対象年度(実施済) □・・・目標年度(計画) ■・・・目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分: A・・・優良 B・・・良好 C・・・低調

**4. 第三者機関の意見聴取**

農山漁村振興交付金実施要領別紙1の第8の3の規定に基づき、第三者機関である「農山漁村振興交付金(都市農村共生・対流及び地域活性化対策)評価委員会※」を組織し、評価に当たり意見の聴取を行った。評価委員会の委員及び開催概要は以下のとおり。

※都市農村共生・対流総合対策交付金等評価委員会と合同開催。

**【評価委員会 委員】**

委員長:大江靖雄(千葉大学大学院教授) 委員:市田知子(明治大学教授)※欠席、加藤由紀子(北海商科大学教授)、森久美子(作家)

## 【開催概要】

### 第1回評価委員会

- 1 日 時：平成29年7月18日(火) 9:30～11:30
- 2 場 所：農林水産省農村振興局第2会議室
- 3 議事概要
  - ① 平成29年度評価委員会の進め方について  
本年度における評価の日程、第2回委員会の実施計画等について説明を行い、了承を得た。
  - ② 平成29年度評価対象地区の概要説明  
平成28年度に事業を実施した10地区について、取組概要の説明後、質疑応答を行った。
- 4 主な意見
  - 目標の設定の考え方について、議論の余地があるのではないか。
  - 目標値、実績値について、単位を統一するなど、表記方法を考えた方がよいのではないか。
  - 実績が低調となる地区について、今後どのような指導等を行うのか。

### 第2回評価委員会(1日目)【現地調査】

- 1 日 時：平成29年8月8日(火) 9:30～19:00
- 2 場 所：北海道芽室町、鹿追町、新得町
- 3 概 要  
鹿追町の「鹿追町グリーンツーリズム観光地域づくり推進協議会」(取組メニュー：農山漁村の「食」を活用し観光と連携したグリーン・ツーリズム)を対象として、意見交換と現地調査を実施。  
※都市農村共生・対流総合対策交付金に関する現地調査(芽室町、新得町)を同日に実施。

### 第2回評価委員会(2日目)

- 1 日 時：平成29年8月9日(水) 10:00～12:00
- 2 場 所：十勝ガーデンズホテル
- 3 議事概要
  - ① 平成29年度評価対象地区の評価方法について  
本年度の評価方法について、説明を行い、了承を得た。
  - ② 平成29年度評価対象地区の評価について  
平成28年度に事業を実施した10地区について、評価(案)を説明し、質疑応答を行った。評価(案)について、了承を得た。
- 4 主な意見
  - 評価が低調となる地区について、具体的なアドバイスを行って欲しい。
  - どの地域にも共通する事項であるが、事業による自立的な交流人口や売上げ増等に繋がるよう活動して欲しい。
  - 市場調査の結果を今後の活動につなげていく必要がある。